



震災で傷んだ小学校を安全に 国際ホテル専門学校ワークキャンプ

7月17日から20日の3泊4日の日程で、東京YMCA国際ホテル専門学校学生16名、スタッフ3名が石巻を訪れ、石巻市立万石浦小学校でワークを行いました。震災による地盤沈下により、プールの床タイルの下に敷いてあった砂が流出してしまい、タイルが沈み、表面は子どもが歩くのには危険なほどに凹凸がありました。また、プールと床の間にも大きな穴が開いてしまい、万が一子どもが足を引っ掛けると大怪我に繋がる恐れがありました。

6月末にYMCAが小学校を訪問した際に、校長先生から藁をも掴む思いで、プールの現状をなんとかできないか相談を受け、今回のワークが実現しました。

ワーク1日目は、校庭から大量の砂を土のう袋に入れ、プールサイドまで運ぶことから始まりました。今回学校がYMCAのワークのために4トンもの砂を用意して下さったので、これを男子が運ぶだけでも半日が終わりました。女子はその間、レンガのタイルを協力して手作業で剥がしていきました。



上：正確な高さに土を均していく学生（7月19日）

下：ワークが終了し、校長先生から感謝を賜る（7月19日）



最初に床のタイルを剥がす作業土は下がり
プールとの間には大きな隙間が（7月18日）

午後からは、剥がしたタイルの下に砂を敷き詰めて平らに均し、その上からタイルを敷き詰め直す作業をひたすら続けました。この砂を均す際に高さが均等にならないと上にタイルを置いた時に結局凹凸ができてしまうので、数ミリ単位で正確に土を盛らなければなりません。

炎天下の中、ツナギを着ての作業だったので、体力的にも精神的にも大変なワークでした。しかし、学生は決して途中で手を抜かず、数ミリの狂いがあれば一度タイルを剥がし、やり直すという地道な作業を、2日間続けました。これには大変驚かされ、誇らしくさえ思えました。

ワーク2日目の午後2時頃、無事に全ての作業を終え、小学校のプールの床は、「見事」に安全に綺麗になりました。学校は予算の関係から業者に頼むこともできず、途方に暮れていたの、これにはとても喜んでいました。校長先生をはじめ先生方から謝辞を賜り、差し入れの飲み物を手にして達成感に浸る学生たちの姿はとても清々しく、誇らしくもありました。今回の学生は全員2年生であり、昨年度から学校で培ったホスピタリティ精神をこのような作業からも垣間見ることができました。

東日本大震災救援復興募金

- ・ゆうちょ銀行（郵便振替）
振替口座：00120-7-714728
名義：公益財団法人 東京YMCA
- ・銀行振り込み
みずほ銀行 神田支店 普通 1677931
三井住友銀行神田支店 普通 7656469
名義：公益財団法人 東京YMCA
※「東日本震災」とお書き添えください。